



文京区議会議員 **松下純子**
 区政報告
 平成25年 16号



議会で、これまで訴えてきたことにくわえ、さらにいろいろな区民目線で提案をいたしました。区長の回答と共にご報告します。

みんなでさがそう！ 税込以外の収入源！

カラーユニバーサルデザインの導入

日本人男性の20人に1人、女性の500人に1の方が、遺伝により色の区別がつきにくいなど、日常のさまざまな場面で不便を感じています。先天的なものだけではなく、目の疾患により、色の判別が困難になることもあります。色弱、また緑内障・白内障などで色の見え方が変化した方のためにも、色

使いに配慮した「カラーユニバーサルデザイン（カラーバリアフリー）の導入」が文京区防災マップに必要と考え提案しました。区も重要性を理解し、防災マップだけでなく、シビック低層階のサインなどの導入が決定しました！委員会においても公共施設の案内表示や、ハザードマップ・広報などの印刷物の色使い、そして小学校などの教育現場においても、色弱者に対する正しい認識を持ち、色使いに配慮する必要性をうたえました。



税込以外の収入で、文京区を豊かに

私が提案した自動販売機の入札制度は、約1000万円の収入を生みだしています。その他にも無料封筒を提案し、シビック2階の区民課窓口を導入されています。(P4に掲載) 墨田区で年間400万円を生みだしている、区立体育館のサポーターフラッグ（企業名などの広告の旗）を文京区でも導入してはどうでしょう。他にも区用車（清掃車や区のトラック等）のラッピング広告募集など、いろ



いろな方法が考えられます。寄付を募ることも、一つの税込以外の収入につながります。先日視察に伺った北海道岩見沢駅は、外壁レンガに寄贈者の名前を明記することで、住民や寄付する側の参加意識を高めると共に、グッドデザイン賞を受賞した素晴らしい駅舎です。たくさんの区民が寄付に興味をもてるように、様々な工夫を探します。

2億円を無駄にしない方法を探すべき

5年しか使わない『自立支援センター文京寮』を取り壊すのは、もったいない！
区民の使える公共性の高い施設に転用して、税金と資源の節約を提案。

<p>区長答弁 文京寮は、建築基準法上、都市計画公園内に5年間の期限で建築を許可された建物であり、例外なく取り壊さなければならぬ。</p>	<p>☆純子意見 2度目の質問に対して区長答弁が全く変わらないことが残念。都市計画公園内でも、公共性の高い建物などの条件付で再利用が許可された例もある。すぐに都や関係各署と交渉を始め、他の自治体にも良い連鎖がつながるきっかけを作してほしい。</p>
--	---

区民センター低層スペースの活用

真砂市場が27年に廃止されるが、その後の区民センターをどのようにするか。空いたスペースには保育園や育成室、または高齢者施設を作ってはどうか。

<p>区長答弁 真砂市場廃止後は、認可保育園の誘致と障害者就労支援センターの移設をする方針です。 地下1階は、有効活用を図り、2階から4階は従来通り予定。</p>	<p>☆純子意見 認可保育園の誘致はありがたい。障がい者就労支援センターは、就労訓練の充実をはかると同時に、区内外の企業にむけて、障がい者雇用に対する理解が広がる場所として利用されることを期待する。 地下のレストランは数年前から閉鎖された状態で、便利な場所にあるのにもったいない。すみやかに対応してほしい。</p>
--	--

元町公園と旧元町小学校校舎の活用について

貴重な区の文化財である元町公園と、27年に順天堂大学との賃借契約が切れる旧元町小学校校舎の一角活用し、今から指針を決め計画と準備に取り組んでほしい。

<p>区長答弁 元町公園と旧元町小学校は、両施設の歴史的意義を継承し、防災機能に配慮し、活用についてさまざまな可能性を探ります。</p>	<p>☆純子意見 質問と回答の温度差に違和感を覚える。遅くとも26年度から議会で議論出来るように区役所内プロジェクトチームを立ち上げるなどの準備に取り組むべき。高齢者施設、障がい者施設の設立はどうか。また、小学校の教室不足などに元町小学校校舎の一部再利用も考えてはどうか。</p>
---	---

保育園数と育成室数を比例させる必要性

保育園を卒園した子どもたちが小学校に入学した後、放課後に必要となる育成室数が不足しています。学校の空き教室を利用するなどして、対応をはかるべき。

<p>区長答弁 育成室の待機児童は12人。児童数の増加や就労家庭の増加に伴い、需要の増加が見込まれる。緊急かつ必要性の高い地域に育成室整備を行ってまいります。</p>	<p>☆純子意見 育成室待機児童対策として育成室を作るだけでなく、学校の空き教室を利用、または児童館で同等な対応が出来るようにする。また一時的に施設の定数を増やすなどできる工夫で育成室が必要な児童の数の増減などに敏感に対応できる柔軟な対応策を考えるべきと思う。</p>
--	---

鉄のオブジェの移動～春日交差点を広々としたスペースへ～

春日町交差点は以前よりも通行が増えていることから、鉄のオブジェは移動して十分な歩行スペースを取り、座れるガードレール等を採用した方が良いのではないかと。

区長答弁

隣接地域で再開発が予定されており、その計画に合わせて撤去を含めた整備を検討中。座れるタイプのガードレールは幹線道路に設置することは困難と考える。

☆純子意見

人や自転車で混み合う春日町交差点は、緊急時でもスムーズな対応が出来るように歩道の安全スペース確保が必要。『鉄のオブジェ』の移動も検討すべき。台東区では幹線道路でも座れるタイプのガードレールが設置されている。街の中に少し休める場所を作る工夫をして、誰もが歩きやすい街づくりを進めたい。

世代を超えて親しまれるラジオ体操の活用と元気高齢者のつながり

高齢者の生きがい作りや、世代を超えた交流事業の1つとして、ラジオ体操を活用してはどうか。

区長答弁

元気高齢者をはじめ、ラジオ体操を活用した健康づくりの方策については、文京区ラジオ体操会連盟及び文京区体育協会と連携して検討します。

☆純子意見

通年会場に元気な高齢者が参加され介護予防に役立っている。全国的なブームでもあり、夏休みラジオ体操の参加者が驚くほど増えている。体育でラジオ体操の試験がある学校もあるのに、運動会ではやっていない学校もあり残念。1級指導員でもあるので、世代を超えた交流事業に育てていきたい。

誰もが平等に正確な情報を入手できる文京区になるように要望

区民チャンネルやホームページの動画にも字幕が必要ではないか。検討してほしい。

区長答弁

全ての番組で対応するのは困難だが、可能な限り実施するよう努める。

☆純子意見

視覚および聴覚障がい等の方々には十分な情報を入手できているとは言えない。「誰もが早く正確に情報を得ることができる」区政に対する信頼は、こういったことから生まれるのではないかと。

旧岩井学園と柏学園の最も有効的な活用の提案

再開未定の柏学園に文化財を収蔵し、利便性の高い旧岩井学園を有効活用すべき。

区長答弁

埋蔵文化財の収蔵庫として、柏学園を利用することは考えていない。

☆純子意見

旧岩井学園は、まだ使える建物なので高齢者施設などに転用可能。埋蔵文化財の保存だけの利用はもったいないと思う。環境が心配される再開未定の柏学園の利用を早急に決めてほしい。

2013年を振り返って

今年もたくさんの良い出会いがあり、色々なことを学ばせていただきました。今後も税込以外の収入の提案を積極的に進め、文京区が豊かになるようにしていきます。目指すは税込以外の収入**1億円!**

仕事以外では、家族の介護があり、それがきっかけで介護ヘルパー2級を取得し、介護を学ぶことで議員の仕事にも新しい気づきが見えてまいりました。

2014年も自分の特技を活かして皆さまの声を聞き、お役に立てるよう努力してまいります。



「黄色いしるし」作戦

大災害時に、玄関や門に掲げることで、ご近所さんに「うちは大丈夫！」と知らせる目印です。日本各地で広がりつつあるこの目印は、安否確認の大きな味方。文京区では本郷同四会町会が自主的に全世帯に配布しました。この活動を応援していきたいです。わかりやすいデザインであり、連絡事項も書き込めるようになっているので好評です。



文京区 根津・千駄木下町まつり♪

街全体が会場となるこのお祭り、年々にぎやかになっています。私の所属する YOU CAN(大田弘子舞踊研究所)は、4年前からダンス・音楽パフォーマンスで参加をさせていただいています。会場の根津ふれあい館の一階は観客でいっぱいになり、華やかなパフォーマンスに歓声があがりました。



文京区聴覚障害者協会 創立50周年

聴覚障がい者の方々、手話通訳、手話通訳を目指している方や手話サークルの方々などたくさんの方が参加しました。文京区議会渡辺議長の手話を交えての挨拶がとても印象的でした。参加者からも、喜びの拍手が出ていました。ますます手話の必要性を感じました。1人でも多くの方が手話を理解しユニバーサルな社会になることに力をそそいでまいります。



第一回文人郷会議 (ぶんじんきょうかいぎ)

第一回文人郷会議が、本郷菊水湯にて行われました。多くの文人が住んでいた本郷を地域資源としてとらえ、古くからの住民にとっては街を伝えるきっかけに、そして新しい住民にとっては地域を知るきっかけになると期待されています。今回は、文人つながりである地方都市(今回は津和野)との交流も行われました。本郷のミニ街めぐりも好評でした。



区の窓口封筒 "無料" に

戸籍窓口にある区の窓口封筒(通信の1Pで紹介)に広告が入ることによって無料になりました。私が昨年提案をして9月から導入されました。窓口封筒だけでなく、行政封筒もぜひ無料にしてほしいと、提案しています。このようにサポーター収入を増やし、税収以外の収入を増やしていきたいです。皆さまのアイデアもうかがいたいです。



文教委員会北海道視察

北海道三笠市(小中一貫教育・コミュニティスクール)と札幌市(子育て総合支援センターの取り組み)を視察しました。三笠市では、人口減少の中で魅力的な学校を作る為、市長が自ら教育に対して力を入れ多くの予算をかけていたこと、また札幌市では、「子ども権利条約」が制定されていて、街全体で子供を守り育てていることが印象的でした。



『生ゴミの水はしぼる。紙ゴミは分ける』で 6億円削減を訴え続けてまいります。



<http://www.matsushitajunko.jp> またはFAX 3814-1518までご意見おきかせください。